

市長メッセージ(陽性確認者の発生・拡大について)

～令和2年12月26日発表～

本日は、昨日、市役所からご報告した事例に関連して、新たに陽性確認者18名についてのご報告と、改めて年末年始に向けての生活上のご留意、ご対応についてお願いをさせていただきたいと思えます。

まず、新型コロナウイルス感染症に関し、昨日、市役所からご報告した事例に関連し、本日、新たに18名、京丹後市民の陽性確認者が発生した旨、京都府からご連絡をいただきました。

ただ、今回の18名の陽性確認者についてはすべて、先日来、ご報告した市内特定施設の利用者及びその濃厚接触者といった感染経路が確認できるものであり、感染状況が個々に独立して広がって確認されている状況ではありません。また、現在、入院・療養中の方はこの他10名であります。この方々も含め、京都府丹後保健所により速やかに、必要な隔離等の措置やその他の利用者、濃厚接触者などへの更なるフォローが適切になされておりますので、その点、お伝えさせていただきます。

いずれにしましても、今回、感染された方の一日も早いご回復を市民の皆さんと共に心から願うばかりです。本市として、引き続き、京都府と共に適切な対応に努めてまいりますと共に、引き続き、濃厚接触者の方々への更なる調査・検査の進展に応じ、適時に市民の皆様に必要な情報提供・共有を行ってまいります。

さて、いよいよ年末年始を迎えます。現在、全国的に陽性確認者が増えてきており、引き続き、予断を許さない状況となっております。年末年始、ふるさとへの帰省を巡っては、これまで、政府の対策本部会議、京都府をはじめ、東京都など各地の自治体の首長から、全国的な状況及び各自治体の情勢を反映した、注意や留意のお願い、メッセージが出されていますが、本市としては、もちろん、政府や居住地の自治体のメッセージをしっかりと受け止めていただきたいこと、そして同時にその上で、お一人お一人が個別に真摯にご判断、ご対応され、ご帰省される方には、本市として、どこの地域からお帰りになるかは関係なく、ふるさととして、もちろん、心から温かく、お迎えをいたします。この点、市民の皆様にもどうぞよろしくお願いいたします。

私たちとして大切なことは、年末年始はもとより、どんなときでも、どんな生活

の場面の中でも、感染予防の重要性を常に自覚し、普段の生活の中でより一層、感染予防をしっかり徹底することです。

1. 社会的距離の確保、2. マスクの着用、3. こまめな手洗い、そして、3密(密閉、密集、密接)の回避、です。

さらには、外出は体調と相談して判断、普段からこまめな換気と保湿、その上で全国では会食で感染が広がるケースも増えています。飲食時の大声を控えるなどの予防エチケット、飲み会は 2 時間までを目安とする、アクリル板などで仕切り 4 人以下の単位にする、そして、全体を通じて、とりわけ、高齢者や基礎疾患のある方への一層厳格な配慮は、徹底的に行っていただきたい、と思います。

なお、発熱や咳等の症状が続く場合、息切れ、強いだるさ、高熱のいずれかの症状がある場合には、すぐにかかりつけ医に、又はかかりつけ医がおられないとか、休日、夜間のご相談は、まずお電話にて「新型コロナ医療相談センター」電話は075-414-5487にご相談してください。本相談センターの連絡先は、市役所ホームページのコロナ特設サイト又は市役所広報誌・広報京丹後 12 月号裏表紙などにも記載しておりますので、ご覧ください。

そして最後に、ぜひともお願いしていることですが、心を込めて繰り返しお伝えいたしたいと思います。というのも、この先も含め、感染者の方またそのご家族、関係者を巡り、人権侵害になるようなこと、例えば、探し出し、誹謗、中傷、うわさ話などは、決して私たちとして行わない、ということです！むしろ、感染者の健康回復をご一緒に応援していただき、行政としても全力でこのことを守り、ご支援をしてまいります。市民の皆様にもどうぞよろしくお願いいたします。

いずれにしても、今後とも大切なことはなにより、感染予防の徹底です。市民全体で感染予防対策に取り組み、一丸となってこの難局を乗り越えましょう！

令和2年12月26日

中山 泰